

令和3年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	高度情報通信ネットワーク社会推進経費			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者		
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	令和2年度	担当課室	情報通信技術(IT)総合戦略室		内閣参事官 吉田 宏平		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法 (平成12年法律第144号)			関係する計画、通知等	世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和元年6月4日)				
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民本位の電子行政の実現等に向け、高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」に掲げられた施策のうち、特に重要なものについて、効率的かつ効果的な進捗状況の把握、評価及び改訂に繋げるために必要となる調査・研究を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	54	11	10	0	0		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		54	11	10	0	0		
	執行額		37	11	4.6				
	執行率(%)		69%	100%	46%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		69%	100%	46%				
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	0	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標			高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策の着実な推進を図るため、本事業により課題等が適切に検討、解決されることを目標とする。平成29年度～令和2年度においては、データ流通・活用環境の整備に関する課題等の検討を行った。令和3年度以降についても、昨年度に引き続き、同課題の検討は実施していく予定。					
	毎年策定されるIT戦略の改定を目的として調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設置は困難である。								
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 3年度
高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策の推進に係る企画立案及び総合調整を行う。	高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部及び専門調査会の開催回数		実績	回	8	2	3	-	-
			目標値	回	4	4	4	4	-
			達成度	%	200	50	75	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
				調査の実施件数	活動実績	件	5	1
当初見込み	件	3	3		1	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	調査に必要な経費／調査の実施件数	単位当たり コスト	百万円	7.4	11	0	0	
		計算式	百万円/件	37/5	11/1	10/0	0/0	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	情報通信技術は、力強い経済成長はじめ社会課題の解決を実現するための鍵であり、当該事業は国民や社会のニーズを的確に反映したものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	IT基本法において、国は高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を実施する責務を有するとされており、当該事業は国が自ら実施すべきものである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当該事業は、IT基本法の目的である高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策の迅速かつ重点的な推進に資するものであり、必要かつ適切で、優先度が高いものである。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当該事業の必要性を精査し、真に必要な事業を実施した。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルスの影響により、中止となった会議が多数発生したため。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	当該会議の必要性を精査し、コスト削減に努めた。		
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は、IT戦略本部や専門調査会におけるIT戦略改訂等の審議に寄与し、成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は、見込みに見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は、IT戦略改訂等に十分活用されている。	
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・ 改善結果	点検結果	会議等の実施に当たっては、オンラインでの実施や参加人数の縮小など、新型コロナウイルス感染症対策の実施に努めたとともに、適正な予算執行に努めた。		
	改善の 方向性	点検結果を踏まえ、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策と適正な予算執行に配慮したうえで、本事業以外の会議の開催の際に活用していきたい。		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了
予定

次年度予算計上省庁において、適切な執行に努めるとともに効率的に執行した実績を、引き続き概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定
終了
通り

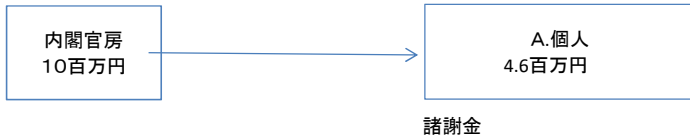
所見で頂戴した意見を踏まえ、デジタル庁でも適切な執行に努めてまいります。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	0001			
平成25年度	0001			
平成26年度	0001			
平成27年度	0002			
平成28年度	0002			
平成29年度	0002			
平成30年度	0002			
令和元年度	内閣官房 - 0002			
令和2年度	内閣官房 - 0002			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

	A.			B.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	諸謝金	会議出席謝金等	4.6			
		計		4.6	計	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	麴町税務署	-	会議出席謝金	0.4				
2	庄司昌彦	-	会議出席謝金	0.2				
3	石黒卓弥	-	会議出席謝金	0.2				
4	村井純	-	会議出席謝金	0.1				
5	安宅和人	-	会議出席謝金	0.1				
6	齋藤洋平	-	会議出席謝金	0.1				
7	READYFOR株式会社	-	会議出席謝金	0.1				
8	株式会社 New Stories	-	会議出席謝金	0.1				
9	砂金信一郎	-	会議出席謝金	0.1				
10	(株)三菱総合研究所	-	会議出席謝金	0.1				